

マリ外務省 ODA アドバイザー

(JICA 専門家 宮本みち子)



1) ODA アドバイザーのお仕事

ODA アドバイザーって何？とよく聞かれる。何と言われても困るが、まずは存在することが仕事になっている。なぜかって？

マリの大学生：日本人が勤勉なのは生の魚を食べるからだよね？

昔の運転手：日本には三階建ての高速道路があるんだって？どうやって上に登るんだ？

外務省同僚：日本は先進国だから、お嫁さんは自分で見つけなきゃいけないんだよね？

どれもこれも完全な間違いではないが、激しくつつこみたくなる衝動にかられる。そう、日本にとってマリが遠いように、マリにとって日本は遠い。少しでも日本のことを正しく知ってもらい、そのために身近なところに日本人がいる、それが大事。だからアドバイザーの事務所はマリ外務省の中。マリ政府の懐の中にもぐりこんでいる。なんと準備して頂いた個室は冷房・トイレ・シャワー完備（ってシャワーは使わないけど）、超高待遇♪最近では居ないとみんながちょっと寂しそうにしてくれるので、多少は良い仕事ができている・・・はず。

冗談はさておき（結構本当だけど）、そもそも ODA は Official Development Assistance（政府開発援助）の略で、ODA アドバイザーというからには、日本の ODA についてマリ外務省にアドバイスをする、というのが主なお仕事。これでもまだわかりにくいので具体例をどうぞ（注：わかりやすいようになんか誇張＆単純化してあります）。

マリ外務省：マリではやっと紛争が終わった。早く平和になって、平和な状態がずっと続くようにしたいなあ。

アドバイザー：それにはどうしたらいいの？日本と一緒に手伝えることはあるかな？

マリ外務省：まずは軍がしっかり国を守ってくれないと！日本に協力して貰えるかな？

アドバイザー：んとね、日本の ODA には「開発協力大綱」があって、その中で軍事協力はしないって決まっているの。それに ODA はそもそも国際的なルール上、軍に対する協力は難しいんだよ。

マリ外務省：じゃあ、日本が作るの得意な自動車、たくさんくれない？

アドバイザー：何に使うの？国民の税金使うんだから、確実にマリのためになることしかできないよ。

マリ外務省：じゃあ、パソコンでもいい。

アドバイザー：パソコンだけあればマリは平和になる？

マリ外務省：・・・。じゃあ、何ならできるの？

ODA は日本政府が途上国政府に対して行う開発協力であり、技術協力である。できないことはあるものの、最も大事なことは相手国政府が何をしたいのか。でも相手国政府だって日本の協力の原則や制度、ルールを知らないと、何を願えばいいかわからず困る。とりあえず何でもお願い、と言われると日本だって困る。このダブル「困った」を解決するのがアドバイザーの仕事。

マリ外務省や関係する政府機関の人たちに、日本の協力の理念や歴史、これまでの実績や現実的な制約を伝える。関係構築は一方通行ではない。日本政府に対して、マリの現状を伝える。現状を理解して貰うことで協力の具体化に貢献する。日本の情報をマリに、マリの情報を日本に。時に開発援助という枠を超えて、二国間の理解促進を図るのも ODA アドバイザーの仕事である。

まとめると、マリ政府の内側で日本とマリの関係強化のお手伝いをする、もう一步踏み込むと、関係強化に貢献するような開発協力案件をマリ側と一緒に作る、というのが主なお仕事。

2) 毎日、何やってるの？

【平均的な一日】

08:00 外務省着（自宅から 30 分～1 時間）

お掃除のおばちゃんが執務室を掃除する間、追い出される。同僚の部屋を回って挨拶。

マリは挨拶が長い。マリを含むアフリカ人は話が長い。同僚は数名だが、優に 1 時間はかかる。

09:00 勤務開始。まずはメールを確認。

10:00 報道情報を確認。日によっては午前中一杯かかることも。

12:30 お昼ごはん。大抵、外務省の食堂からデリバリー。たまにこない。たまに頼んでなくてもくる。

14:30 14 時はお祈りの時間なので、避けてアポをとる。午後のアポはこの時間が多い。

アポ相手は政府関係機関の人。

16:00 この時間に会ってくれるのはドナー関係者か民間企業が多い。

18:00 帰宅目標。渋滞によっては 19 時過ぎ。

毎日の主な作業は、①同僚との挨拶、②情報収集、③アポ（人脈形成）。多くの時間を人脈形成と情報収集に費やします。とにかくにもまずは人から。人を知らなければ情報は集まらない、情報の確度があがらない。もっと言えば身の安全も守れない。というわけで、日々友達作りに励んでいます。



普段の昼食。オクラと牛肉の煮込み。オクラ：肉 = 9 : 1 ぐらい。

主食はマイス（トウモロコシ）の粉をふかした「トウ」。

洗面器のような容器でやってくる（笑）

見た目以上に（？）美味しい♪♪♪

3) マリで驚いたこと

① とっても真面目

外務省に配属になった当初。「役人なんて毎日来ないんだろうな～（前の赴任地はそうだった）」と思いきや、就業時間前から局長が・・・同僚が・・・居る！（笑）その次の日も、また次の日も、朝からいる。雨が降っても（びしょぬれだけど）居る！その当たり前の真面目さに感動した。

② とっても几帳面（かも）

そして聞かれる。「昨日見かけなかったけど？」いや、昨日は午前中大使館で会議があってね……。 「今朝も居なかったでしょ？」ああ、今朝はドナーの会議があってね……。 て何故知っている？「どこにいるか気になるし、朝居ないと病気かと心配になる」おお、ありがとう。じゃあ、一週間の日程表、共有して、定期的に会議しようか。「いや、それはいい。」……それはいいんだ。

③ とっても親切

アドバイザー用の部屋を確保するため、隣の部屋に強制移住させられたという女性。「部屋はどう？気に入った？」はい、おかげさまでとても快適です。「この部屋は小さい小物を入れる場所に困るのよ、これあげるわね」とおもむろに、ものすごくかわいい小物入れをくれた。しかもこの日、初対面。びっくりしたら局長がやってきた。「これ、いるだろう？」とおもむろにトイレットペーパーをくれた。局長なのになんて細かいことに気がつくんだ（号泣）。別の日にいかつい同僚が「これ、女性には大事なのに遅くなってごめん」と部屋の消臭剤をくれた。ちょっと気配りの方向性がずれている気もしないではないが、一生懸命対応してくれる同僚には、毎日助けられ、励まされ、勇気付けられている。

4) 今後の目標

短期的な目標は、今、マリ政府が直面している課題の解決に貢献できるような開発協力案件を、マリ政府と一緒に着実に作り上げていくこと。長期的な目標は、日本に関する正しい知識を身につけたマリ人を増やし、マリを日本大好きな国にすること。なぜなら私がマリを大好きで、片思いだと悔しいので（笑）。



自宅のテレビにて。

アジア人女性は珍しいらしい。

会議にでると大体「その他参加者」を映す際の格好のネタにされる。最近では日本の国旗ピンバッジをつけて聞かなくても日本人だとわかるよう、さりげなくアピール。これもお仕事のうち。

(了)